

山 口 新 聞

平成 26 年 9 月 5 日 (金)

NO.119

農地・水・環境

守ろう地域の手に



119

域の棚田が「やまぐち棚田 20選」に認定されたのを受けて、同年6月に立ち上げた当会が現在、棚田保全の中の植樹活動などが挙げられる。共同作業やレクリエーションで共に汗を流すことで地域のコミュニケーションの向上を図っている。

周南市四熊井谷地区は市中心部から車で15分ほどの近さにありながら、先人が築いた18畝の石垣棚田が残り、村の風景を今にとどめている。

石垣棚田の維持保全のため、2006年に井谷轆の会が発足。10年3月に本地

井谷地区を守る会(周南市)

赤ちゃんの泣き声する里山に

歳と高齢化していることから、将来を考えると

若い後継者を呼び戻す地域活性化方策を探し出すことが最大の課題である。赤ちゃんの泣き声とカエルの鳴き声が競って聞こえる活気ある里山を目指している。

(幹事、水井賢二)

|| 金曜日掲載 ||



上 会員の皆さん
下 農道の補修作業

【メモ】代表 || 福富頼人
◇ 会員 || 17人、うち農業者13人、農業者以外の個人4人
▽ 設立 || 2010年6月17日
▽ 連絡先 || 周南市四熊468の3、福富頼人さん ☎ 0834・64・0215